

声の高さ・長さ・大きさの パラ言語情報の認知に与える影響

Influence of F0, Duration and Loudness on Paralinguistic Information

△竹谷雄太(島根大学・総合理工), ○小林聡(島根大・総情セ)

- ◆/ee/という母音 2 モーラ語において, 声の高さ・モーラ継続長・声の大きさにより, 人間がどのようなパラ言語情報を受け取るのかを調べるため, 合成音声を作成し, 聴取実験を行った.
- ◆被験者 25 名は, 28 個の印象語について各々5 段階で評価した.
- ◆実験結果より, グラフから, それぞれの特徴により 28 個の印象語の受け取られやすさの傾向を検討し, 下記の 8 グループに分類することが出来た.

	印象語	F0 について見た評価	継続長について見た評価	声の大きさについて見た評価
1	[悲しみ],[不安],[自信無]	—	—	声が小さいほど大きくなる傾向
2	[高揚],[強調],[自信有]	—	—	声が大きいほど大きくなる傾向
3	[驚き],[疑問]	F0 の変化が正の音声について, 大きくなる傾向	継続長が長いほど, 大きくなる傾向	—
4	[感心]	F0 の変化が正の音声について, 大きくなる傾向	—	—
5	[冷静],[肯定],[相槌]	F0 の変化が負の音声について, 大きくなる傾向	継続長が短いほど, 大きくなる傾向	—
6	[信頼],[中立]	—	継続長が短いほど, 大きくなる傾向	—
7	[無関心],[不満],[落胆],[軽蔑],[嫌悪]	— (F0, 声の大きさによらず中程度の評価)		
8	[恐れ],[怒り],[安堵],[慎み],[好意],[満足],[同情],[喜び],[苛立ち]	— (F0, 声の大きさによらず低い評価)		